

平和に祈りを込めて！

学校の紫陽花も色とりどりの花を咲かせて心を和ませてくれましたが、そろそろ梅雨明けも間近になってきました。晴れの日には空を見上げると積乱雲が立ち上り、夏空が広がっています。

さて、3年生は、予定されていた沖縄修学旅行が台風2号の影響で延期となり、6月5日（月）～7日（水）に実施しました。

初日は、沖縄県平和祈念資料館、糸数アブチラガマ（全長270mの自然洞窟）を訪れ、平和学習をしました。そして、夕方には沖縄県平和祈念資料館の施設内の『平和の礎』がある広場に3年生全員が集まり、生徒会本部役員6名が中心となって平和セレモニーを行いました。全員で黙祷したあと、生徒会本部役員一人一人から平和への願いを込めたメッセージが述べられ、千羽鶴を捧げました。



以下は、平和セレモニーで生徒会本部役員が述べたメッセージです。

私たちは、「沖縄」を知っています。
「沖縄」の晴れ渡る空と、澄み切った海を知っています。
サンゴ礁と色とりどりの花がいっぱいの「沖縄」を知っています。
そして、この島の歴史を知っています。
私たちは「沖縄」を知っています。
夏の日差しと風を受けて揺れるさとうきびの中で「命の奪い合い」があったことを…。
狭く暗い壕の中で、小さな子どもの命が奪われたことを…。
たくさんの若者の未来が奪われたことを知っています。
私たちは「沖縄」を知っています。
日本で地上戦が行われた唯一の島であることを…。
そして、この平和がみなさんの悲しみや絶望の上にあることを…。
この平和がみなさんの流した血と涙の上にあることを知っています。
そして、私たちは、幸いなことに戦争を知りません。
平和な生活を送っています。豊かな生活を送っています。
この平和な日々を失いたくありません。悲しい歴史を、繰り返したくありません。
私たちはもう一度「沖縄」を考えようと思います。
なぜ、こんな戦争を起こしてしまったのか。なぜ、多くの人々が死ななければならなかったのかを…。

そして、命を奪い合う「人間」について、もう一度考えようと思います。
ここで起こったことの意味をもう一度学ぶために私たちはここにいます。
私たちは、二度と戦争を起こしません。
この悲しい歴史は決して繰り返しません。
そしてこの地で起こったことの意味を伝えていきます。
私たちの輝かしい未来を守ります。平和な世界にします。



平和であることへのありがたさと感謝の気持ち、命の尊さについて改めて考える機会となりました。

学校は、期末テストも終わり、久しぶりに部活動で練習する生徒の元気な声が聞こえてきました。

陸上部は、6月の10日（土）乙訓陸上、18日（日）山城陸上を終え、他の部活動より一足先に夏の大会が始まりました。終業式の翌日からは、各部活動で夏季の大会、コンクールが始まります。各自が、自分の努力してきたことを信じ、部員のみんなと心をつなげて、ベストを尽くしてほしいと思います。

3年生は最後の大会となりますが、最高の舞台で全カプレー、演奏をしてくれることを期待します。保護者の皆様も応援をよろしくお願いいたします。

校長 岡本 英明
学校だより7月号より